



そよぐ風、なびく稲



(藤沢市 石川)

表紙 そよぐ風、なびく稲 1	食育活動の取組 12 ~ 13
新規就農者の紹介 2 ~ 3	直売所の紹介 14 ~ 15
遊休農地解消の取組 4 ~ 7	地産地消について 16 ~ 17
農地法違反解消の取組 8	菜食健美 18
人・農地プランの制度について . . . 9	事故防止対策について 19
農業委員の紹介 10 ~ 11	研修、年金、編集後記 20

編集・発行 湘南地区農業委員会連合会 (藤沢市・鎌倉市・茅ヶ崎市・寒川町)

事務局 藤沢市農業委員会 藤沢市朝日町1-1 藤沢市役所内 TEL0466-25-1111 内線 3442

Q きつかけは？
A 農業に興味を持ったのは、大豆の種まきから収穫まで行う体験に参加したことがきっかけです。決められた作業日に参加するうちに農作業のおもしろさに気付き、作業日以外にも手伝うようになりました。その時に頂いたスイカがびっくりするほどおいしかったのが心に残っています。

聞いてみました



昔ながらの農風景を守っていききたい
藤沢市の柿田祥誉さん

Q 将来の夢はなんですか？
A 田んぼや農作業といった昔ながらの風景や生活を残したいです。自らお米や大豆を育てたり、そこから味噌を作るといったことは少なくなってしまうことが、そういった技術を楽しく一緒に実践していきたいです。昔ながらの食文化を伝えていくことで、その人自身で作ったものが一品でも食卓に並ぶようになればうれしいです。

聞いてみました



信頼される農家を目指して！
茅ヶ崎市の脇祥平さん

Q 農業の魅力は？
A 大学のゼミで農業政策を学んでおり、一般企業を退職後に自分の力でできる仕事をやりたいと思います。農業の道へ進みました。現在、ナス、キュウリ、エンドウなどを栽培し、直売所に出荷しています。自然相手の仕事なので毎年作り方が違うのですが、自然に合わせいくのが農家としての腕の見せ所であり、魅力であると考えています。

Q 将来の夢はなんですか？
A 手をかけて良いものやおいしいものを作っていくことが一番大切であると考えています。今後は耕作する面積を増やし、色々な品目にチャレンジしていきたいです。そして、農家として自立し、地域で信頼されるようになっていきたいです。



新規就農者の紹介

Q 農業の魅力は？
A 私は、花苗や野菜苗を中心に栽培を行っています。農業は、天候や気温などの自然環境の影響を強く受けますので、その時々での栽培調整が重要です。最近の悩みは、虫害対策や、いろいろな栽培調整を行い、自分のイメージした苗を育てることができたときの達成感こそが、農業の魅力だと思います。

聞いてみました



地域に根づく農家を目指します！
寒川町の合田洋亮さん

Q 将来の夢はなんですか？
A 生産者として一人前になることが当面の目標です。安心安全なものを安定的に栽培できる技術を身につけ、商品に自分の特色が表れるようにしていきたいです。また、食品加工や流通販売にも業務を展開していく予定です。農業にかかわる人たちと交流し、異業種の人たちとも交流し、魅力ある商品やサービスを作っていきたく考えています。

聞いてみました



安心・安全な野菜を届けたい！
茅ヶ崎市の八木努さん

Q 農業の魅力は？
A 何かを作って自分で売る商売を始めたいと考え、平成二十五年十月より新規就農しました。現在は有機栽培でナスやトマト、エダマメなど十品目以上の露地野菜を作って、JAさがみの直売所「わいわい市」を中心に出荷しています。収穫した野菜をお客さんに購入していただけることで、仕事の成果が手に取るようになります。

Q 将来の夢はなんですか？
A 多品目生産のため、作業スケジュールの組み立てや仕事量の調整などについて、自分の目指すものづくりがどこまでできるのか日々試行錯誤を続けています。自分なりの生産サイクルを確立し、商品を切らずに、満足いく安心・安全な野菜をお客さんに届け続けていきたいです。将来は惣菜などの加工品も作っていきたく考えています。



遊休農地

解消の取組



寒川町



茅ヶ崎市



親子で楽しく 農地の復元!

茅ヶ崎市では、昨年度より「農業 漁業体験プロジェクト」をスタートし、好評をいただいています。今年度も市内の親子を対象に、半年間にわたって農業・漁業を体験していただき、第一産業に対する理解を深めていただきます。今年度は昨年度の畑の三倍となる約千平方メートルの遊休農地をよみがえらせます。五月に抽選で選ばれた八組二十名の親子が農業委員とともに力を合わせて、サツマイモやサトイモ、エダマメ、トウモロコシなど、昨年度以上に多くの品種の植え付けを行いました。六月には草取りを行い、圃場管理の大変さを体験していただきました。十月には収穫祭を行い、自分で育てた作物からできた料理を味わいます。プロジェクトでは

今年も掘るぞ サツマイモ!

寒川町では毎年、JAさがみ寒川青壮年部・大地会と寒川町産業振興課で遊休農地解消対策事業としてコスモスの作付けやトウモロコシ栽培などさまざまな試みが行われています。中でも子どもたちに人気なのがサツマイモ栽培です。

五月十六日、午前十時、寒川高校南側「グリーンガーデン寒川」に集まった大地会のメンバー七人と保育園児四十人で、苗の定植作業が行われました。園児たちは、「小さな苗から大きなお芋ができるのかな」と不思議そうな顔です。慣れない手つきでマルチに開けられた穴に苗を植え付けました。昨年の芋掘りでは、カエルが飛び出し歓声が上がったり、園児たちにとっては新鮮な体験となりました。今年もサツマイモは順

畑作業以外にも、田植えや稲刈り、稚魚放流や刺網漁など、たくさんさんの作業を体験していただきます。

昨年度の参加者からは「全てのイベントがとても充実していました。」「なかなかできない体験がたくさんあり、農業・漁業の大変さを実感しました。」などの意見をいただきました。今後このプロジェクトを通じて、遊休農地解消に取り組んでいきます。



調に育ったようです。楽しい芋掘りになったかな。





遊休農地

解消の取組



藤 沢 市



復元作業前

復元作業後

遊休農地を復元！

藤沢市農業委員会では、農地パトロールに基づく指導通知や遊休農地所有者に対する意向確認、戸別訪問などを行っています。農業者の高齢化や担い手不足などのさまざまな要因によって遊休農地が増えてしまっています。そこで農業委員会では、長年遊休化しており土地所有者だけでは解消が困難な農地の復元作業に取り組みました。

今回対象となった農地は、瀬郷の畑七百二十九平方メートル。長期間不耕作であったため、竹などの雑草が二メートルほど伸びている状態で、特に竹の根については隣接の植木畑にも侵入しており、長らく周囲の営農に支障を来していました。

農業委員や新規就農者ら三十二名により復元作業が進められ、パッカー車六台



分の草刈りや、不法投棄されたごみの処分などが昼過ぎまで行われました。参加した農業委員は「竹などが想定より伸びていて大変だった。大勢の協力でここまで戻すことができ、とてもやりがいがあった。」と話していました。

なお、復元した農地は営農意欲のある認定農業者が借り受け耕作を行っています。

鎌 倉 市



市長を交えた調印式

地元企業と協働で遊休農地の解消を目指します！

鎌倉市農業委員会では、平成十八年度に鎌倉市農業委員会・JAさがみ・鎌倉市で構成される鎌倉市遊休農地解消対策協議会（以下、協議会）を設置し、遊休・荒廃状態にある農地の復元作業を行っています。平成二十四年八月に三菱電機株式会社から社員の社会貢献活動の一環として、鎌倉市の農業振興に寄与することを目的に遊休農地の復元作業に協力したいとの申し出がありました。

その後、平成二十五年四月に三菱電機株式会社と「鎌倉市遊休農地解消対策実践活動協定書」を締結し、協議会と協働で遊休農地の解消に向け、取り組みを進めていくことになりました。

取り組みの内容としては、社員やその家族が協議

会委員の指導や助言を受けながら農業振興地域内の遊休農地の復元活動を行います。初年度はサツマイモ、ジャガイモ、落花生などを栽培しました。収穫したサツマイモは市内の小学校に給食食材として提供され、良い出来だったと好評でした。

今年度も引き続きサツマイモやジャガイモなどを栽培しており、三年を目安に良好な農地に復元することを目指しています。また、新たな圃場の草刈りにも取り組み、活動の場を広げていきます。

今後も遊休農地の復元作業を継続的に実施する予定です。



人・農地プランの制度について

人・農地プランは

人と農地の問題を解決するための
未来の設計図です。

地域の農業者の話し合いによって作成します。

- 地域における話し合いによって、**集落・地域ごと**に作成します。営農の実態に合わせてもっと広いエリアでもかまいません。
- 「人と農地の問題」を解決するために、次の事項を決定します。

- 今後の中心となる経営体（個人、法人、集落営農）はどこか
- 中心となる経営体へどうやって農地を集積するか
- 中心となる経営体とそれ以外の農業者（兼農農家、自給的農家）を含めた地域農業のあり方（生産品目、経営の複合化、6次産業化）をどうするか

- 現在、**認定農業者、法人、集落営農**など担い手がいる場合は、それら経営体の意向を確認したうえで地域の中心となる経営体としてプランを作成することが適当です。

人・農地プランの範囲は、集落や自治会等の営農活動の単位となるエリアが基本ですが、地域の実情に応じて複数集落やもっと広いエリア（小学校区、旧町村など）でも可能です。

市町村が人・農地プランを作成していることが要件になっています。

- **青年就農給付金（経営開始型）**
 - ・原則 45 歳未満で独立・自営就農する者に年間 150 万円を最長 5 年間支援します。
- **農地集積協力金**
 - ・中心となる経営体に農地を提供する者を支援します。
- **スーパー L 資金の金利負担軽減措置**
 - ・認定農業者が借り入れるときに、当初 5 年間を実質無利子化します。
- **経営体育成支援事業**
 - ・融資を受け農業用機械等を導入する場合に融資残を補助します。（補助率は 3/10 が上限）



人・農地プランに位置付けられることで、
新規就農や農地集積などの支援施策を受けられます。



農地法違反に対する是正指導！

鎌倉市の取組



- 土地の状況・・・市街化調整区域 登記地 目畑 面積 三筆 計、三百二十五平方メートル（公簿上）
- 法令・・・農地法、農業振興地域の整備に関する法律
- 違反の内容・・・農地転用許可を受けないまま、資材置場として利用

当該地は、平成十四年頃に違反が発覚したため、農業委員会と関係機関が協力し、土地所有者及び使用者双方に対し、違反是正に向けた指導を行ってきました。

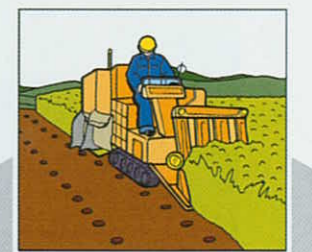


当初は、土地の権利関係の問題もあり是正指導にこじなかつたものの、土地所有者、使用者及び農業委員会の三者で話し合いを重ねた結果、使用者が資材の撤去を行い、平成二十六年七月までにすべての資材等が撤去されました。当該農地については、転用の許可申請の可否について神奈川県



農業委員会の取組「優良農地の確保」

利用状況調査を実施しています！



平成二十一年の農地法改正により、農地の利用状況調査の実施が農業委員会に義務化されました。毎年管内の農地を一筆ごとに確認し、遊休化や耕作放棄あるいは違反転用していないか、その利用状況を調査しています。

育てて食育学んで



藤沢市



茅ヶ崎市



農業を通して 社会体験！

湘南学園中学校の二年生は「湘南地域の人たちとならう！」というテーマで総合学習を行っていました。地域の産業や住んでいる人々の営みを知り、体験することで、「地域」とは何かを学びます。その中で、地元の農家さんやJAさんがみの直売所「わいわい市」に協力していただき、農家さんや「わいわい市」で行っている作業を体験しました。

五、六人で一つの班になり、班ごとに農家さんのお宅や「わいわい市」に伺いました。今回、訪問した農家さんの作目は露地野菜、果樹、ハウス栽培などさまざまなため、作業も多種多様。体験内容もエダマメの種まきや収穫、袋詰め、ジャガイモの収穫、ブドウの笠

かけなど、班ごとに異なります。また、「わいわい市」では陳列や商品の紹介文の作成などを行いました。

ブドウの笠かけを体験した班は「ずっと手を上げていて、疲れたけど楽しかった」と元気に答えてくれました。畑を耕す体験をした班は、最初、おぼつかない様子でクワを振るっていましたが、すぐにコツをつかんだのか「クワを使うのが面白い」と言って熱心に作業に取り組んでいました。農家さんも飲み込みの早さに驚かれています。

どの班も農家さんや「わいわい市」の店員さんにアドバイスをもらったり、質問をしながら一生懸命作業に取り組んでいました。



屋上でのお米づくりに ついて学校の先生から 届きました！

茅ヶ崎市立汐見台小学校は、今年で創立四年目を迎えた学校です。本校の水田は、三階建て校舎の屋上にあります。学校は海岸から百メートルほどの場所にあり、常に強い潮風にさらされています。そのため屋上フェンスに防風ネットを張り巡らし、稲の倒伏を防いだり、防鳥ネットを張って食害を防いだりする工夫をしています。猛暑の夏でも、屋上には平均十九度の井戸水が供給されるので、水管理は助かります。教育施設業務員さんが粘土を、五年生児童が赤土と黒土を、土のう袋で何回も屋上の田に運び上げ、土作りをしました。お盆を迎え出穂も無事過ぎた頃にイネツトムシの食害や縮葉枯病などが出た時は、完全無農薬が原則という難しい条件の中、JA

さがみの方に適切なアドバイスをいただき、無事乗り切ることができました。

稲刈りは保護者の皆さんも学習に参加し、四十キロ弱のお米を収穫して、全校給食でおいしくいただきました。脱穀後に出たわらはは、縄をなってクリスマスリースやお正月のしめ縄飾りなどを作って楽しみました。児童は「汐小米（しおしようまい）」と名付けた米作りを一人一人が研究テーマとしてまとめ、次年度の五年生に伝える発表会を開きました。本校の文化を創るために、意欲を持って取り組めた一年間の学習でした。





寒川町宮山地区
金子共秀さんの直売所

寒川神社参道沿いに金子さんの直売所「金子養鶏・果樹園」があります。ここでは、新鮮な卵やナシ、カキなどが販売されています。果樹を共秀さん、養鶏は父の悦夫さんが担当しています。秋から春にかけて菌床シイタケ、夏にはナシ、そして十月下旬にはカキが登場します。金子さんの作ったカキは、平成二十五年まで四年連続、寒川町農産物品評会で優等を受賞しました。中でも「太秋（たいしゅう）」はジュー

シーでサクサク、甘いので直売所でのリピーターも多いそうです。地元の洋菓子店のケーキに使われテレビ放映もされました。他にも直売所には富有柿と次郎柿が並び、大きさや熟し具合なども選別され、お好みの物を購入できます。「鶏糞や有機肥料をたっぷり使って作っています。今年、青パイヤに初挑戦してみました。」という金子さん。ぜひ足を運んでみてください。



茅ヶ崎市浜之郷地区
石坂澄雄・幸雄さんの直売所

石坂さん親子の直売所は茅ヶ崎市浜之郷にありま。五、六年前から、曜日に関係なく野菜の収穫に合わせて直売をされているそうです。取材に伺った日は、石坂さんおすすめのみずみずしいエダマメと甘いトウモロコシの他に、ナスやキュウリなど、朝採りで新鮮な野菜が並べられています。直売所には次から次にお客さんが訪れ、「好きなものを自分で選べること

がとても楽しい」、「新鮮なものが一番ね」、「エダマメ、もう一つ！」といった声が聞こえ、とてもにぎわいがありました。秋と冬には、コマツナやホウレンソウなどの葉物やブロッコリーなどが並ぶ予定とのことでした。石坂さんは「新鮮な野菜を皆さんに食べてもらえるのが一番うれしい」と話されています。

新鮮さが売り物です!

直売所



鎌倉市城廻地区
小泉章さんの直売所

金曜日の午前十時、鎌倉市城廻の小泉さんが、丹精込めて作る「鎌倉やさい」の直売所がオープンします。自宅敷地内の納屋には、トマトを中心に自家培養したEM菌（有用微生物）を用いて生産された色とりどりの季節野菜が並びます。直売所は平成二十一年六月からスタートして今年で六年目。開店するとすぐに、小泉さんが作る野菜の味を知る常連さんや口コミで情報を得たお客さんが次々と訪れ、目当ての野菜を購入

していきます。六月から八月にかけてはハウスがトマトで一杯になり、早朝から夕方まで一日中収穫作業をすることもしばしばあるそうです。「EM菌の持つ抗酸化力により、植物自体の抵抗力や成長力が高まり味も格段に良くなった。どこに出しても恥ずかしくない野菜です。」とのこと。皆さんも小泉さんの安心・安全、そして何より味の良い野菜を味わってみてはいかがでしょうか。



藤沢市遠藤地区
飯島正博さんの直売所

藤沢市道大庭・瀬郷線沿い、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスの南側に飯島さんの直売所「いじま果樹園」があります。ここでは七月から九月にかけて、ナシやブドウ、さまざまな野菜が並びます。特に七月中旬から八月にはナシ七種類、ブドウ六種類と豊富に取りそろえています。中でもブドウは平成二十五年藤沢市立毛共進会と果樹特寄品評会で優秀賞

を受賞している自信の品。一番人気はブドウの藤稔（ふじみのり）。作り始めて二十五年になり、大粒で甘くておいしいと大変評判です。発送にも対応しています。リピーターの方が多く、毎年飯島さんの作る果物を楽しみにしているそうです。



おいしく楽しく

藤沢日とおじゅう取扱販売店一覧

店舗名	連絡先
(有)丸代商店海産物丸だい	0466-26-4701
(有)有田商店	0466-36-7298
(株)大澤商店	0466-36-8731
栞屋酒店	0466-34-1066
北村商店	0466-22-2756
飯田屋酒店	0466-22-2912
(株)長谷川商店 本町店	0466-23-6026
(有)齋藤企画事務所	0466-81-6073
江戸屋	0466-81-7285
(株)はせ川 大庭店	0466-87-3077
わいわい市藤沢店	0466-90-0831
(株)ヤマヤス食品	0466-82-1641
下山酒店	0466-81-6037
(有)ナガシマストア	0466-82-1121
(有)フードショップハセガワ	0466-43-4455
大貫酒店	0466-44-0102
リカーショップマルセン	0466-44-3239
越後屋酒店	0466-44-4357
栄屋酒店	0466-44-1571
下田酒店	0466-48-1044
ポブラ宮原店(有)鈴野商店	0466-48-1031

藤沢市



**うまい！
芋焼酎
藤沢日とおじゅう**

「遊休農地を利用して栽培した作物で地産地消の商品を作り、遊休農地の活用を呼びかけできないか。」と藤沢市農業委員会の遊休農地対策委員が発案。これが芋焼酎藤沢日とおじゅうが生まれたきっかけです。

藤沢地域は古くからサツマイモの産地であったため、焼酎に最適な品種「黄金千貫(かねせんがん)」を作付けし芋焼酎を作りました。

収穫農地付近にあるJAさがみの直売所「わいわい市藤沢店」の佐藤店長は「帰省される人や視察で訪れる人などに藤沢のお土産として好評です。家族連れのお父さんもよく購入されています。また、遊休農地解消のために近くの農地で作付けした経緯をご説明すると皆さん感心されます。」



と話していました。

味はまるやかで飲みやすい藤沢日とおじゅう。四合瓶(七百二十ミリリットル・三四度・限定千五百本)。「わいわい市」の他にも藤沢市内の酒屋で一本、八〇〇円(税抜)で販売しています。

皆さんも好みでロック、お湯割りでいかがですか。

地産地消!



鎌倉市



オーナーの伊藤さん(左)と農家の福田さん(右)

**見て味わう
食べて味わう
体にやさしい
鎌倉イタリアン**

JR鎌倉駅東口徒歩五分、小町通りから二歩入った場所にある「Rans Kamakura」さん。以前は表参道でお店を構えていた店主の伊藤さんが、「鎌倉」、「小町通り」という場所に魅かれ平成二十年にオープンした人気のイタリアンレストランです。茶色を基調とした店内では、鎌倉やさいや相模湾の新鮮な魚をふんだんに使った料理を味わうことができ、地元客を中心に、女性やカップルたちで連日賑わっています。

「海も山もある鎌倉だからこそ地域の素材を活かしたい。」伊藤さんは毎朝、鎌倉市農協連即売所(通称レンバイ)に足を運び、直接農家さんと語りながらいながら、自らの目で野菜を選びま



す。仕入れた色鮮やかな野菜は、バーニャカウダやスープそしてパスタの具材など、それぞれの料理に上手に活かされます。

「Rans kamakura」さんの料理を頂くと、あらためて「鎌倉やさい」の底力を感じさせてくれます。

皆さんもぜひ一度、お店に足を運んでみてください。

今からすぐにやってみよう!

今すぐできる

農作業事故の対面調査から得られた事故防止対策

★ 携帯電話を持ち歩こう!



1人作業中の事故で、携帯電話を持っていたために救命につながった事例が多数ありました。

たとえ自宅近くでの作業でも（敷地内の納屋でも）、万が一の事故に備えて、家を出るときは携帯電話を必ず持ち歩くようにしましょう。

【事例】

自宅近くの畑で耕うん機をバックしながら操作していたところ、圃場から4m下の川に転落。携帯電話で奥さんに連絡を取り、救急車とレスキューの出動を要請。20分後に救出され、40分後に病院に搬送。

腰椎の骨折等で、85日間入院した。



事故現場の様子
(畑から川までの高さは4mあった。)
(事故当時は川と垂直に畝を作っていた。)

携帯電話が通じない場所もありますので、朝出かける前に、家族に1日の作業計画や場所を予め知らせる習慣を身につけましょう。また、可能であれば、1人作業を避け、複数人で作業をするようにしましょう。

★ 駐停車するときは、駐車ブレーキを確実に!

停めたトラクターが勝手に動きだし、転落事故やけがに至った事例がありましたが、駐車ブレーキが確実にかかっていなかったことが原因の1つでした。

トラクター等を駐停車するときは、駐車ブレーキを確実にかける習慣を身につけましょう。

【事例】

代かき作業後、圃場から道（斜度12°）に出る際に壊した畦を直すため、トラクターを道に停めたところ、駐車ブレーキが確実にかかっておらず、トラクターが動き出して7m下の川に転落。トラクターから飛び降りた際に右肩を強打した。



けがで済んだが、一歩間違えば…
トラクターの修理代は100万円

トラクター等を傾斜地で停車する際は、駐車ブレーキを確実にかけることのほか、
・作業機は地面に降ろす・エンジンを止めて傾斜方向逆側にギアを入れる…ことが大切です。なお、機種により駐車ブレーキのかけ方が違います。かけ方を再確認しましょう。

おいしくて素敵なお料理・食品を紹介していきます。ご家庭で旬のものを使って味わいましょう。

菜食健美

寒川町

白菜のクリームがけ

カルシウムがたっぷり！おまけにヘルシー！



材料（4人分）

ハクサイ	8枚	A	牛乳	2カップ
固形スープの素	1個		塩	小さじ1/2
水	1カップ		こしょう	少々
カニ缶	1缶	B	片栗粉	大さじ2
カニかまぼこ	2~3本		水	大さじ2
			塩	少々

作り方

- ① ハクサイは軸と葉に切り分け、葉は大ききざく切りに、軸は細切り（そぎ切り）にする。カニかまぼこは長さを半分にし、ほぐしておく。
- ② 鍋に固形スープの素と水1カップを煮立て、ハクサイの軸を加え、ふたをして5~6分煮る。ハクサイの葉も加えて2~3分煮たら、ハクサイを器に引き上げておく。
- ③ ②の鍋にカニ缶のほぐし身と缶汁、カニかまぼことAを加えて中火で煮立て、Bを溶き加える。塩少々で味を調べ、②のハクサイにかける。

(JAさがみさわやか倶楽部 寒川地区)

茅ヶ崎市

秋刀魚のさっぱり煮

旬の秋刀魚で生活習慣病予防!



材料（4人分）

サンマ	4尾	A	砂糖	大さじ2
レンコン	300g		しょうゆ	大さじ2
ショウガ	1かけ		酒	90cc
赤唐辛子	1本		酢	90cc
			水	100cc

作り方

- ① ショウガは皮をむき、千切りにする。
- ② レンコンは皮をむいて縦半分に切り、横幅1cmに切って水にさっとさらして水気をふく。
- ③ サンマは頭を切り、内臓の端を包丁の刃先で押さえて内臓を引き出し、よく洗って水気をふく。尾を切り落として、長さを4等分に切る。(サンマを選ぶポイントは、全体に光沢があり背の青色が鮮やかなもの、黒目の周りが透明なもの、口先が黄色いもの。)
- ④ 鍋にAとショウガ、赤唐辛子を入れて中火で煮立て、サンマとレンコンを入れる。ふたをして弱火にし、14~15分煮る。

(茅ヶ崎市こども育成部保育課 管理栄養士)

農業委員会の研修会

藤沢市・鎌倉市・茅ヶ崎市・寒川町の農業委員会で構成する湘南地区農業委員会連合会では、定期的に農業委員の研修会を開催しています。今年度は農業委員が改選されました。新任農業委員は農地に係わる法律や制度、農業委員の役割を、全農業委員は農地中間管理事業について学習し、農業委員の活動に役立てています。



研修会風景



よくわかる

農業年金のポイント



国が支える。安心が大きくなる

担い手積立年金

「担い手積立年金」は農業者年金の愛称です。

農業者年金は、サラリーマンの厚生年金に当たる、農業者の公的な乗せ年金です。
この農業者年金は、昭和46年に発足し、平成13年の抜本的な制度改正を経て、少子高齢化時代に強い、安定した安心な制度に生まれ変わりました。
国の試算では、国民年金だけでは夫婦二人で毎月10万円の不足が想定されています。老後の備えのひとつとして、是非公的年金である農業者年金のご加入をご検討ください。

●積立方式・確定拠出型の安定した終身年金です

農業者年金は、加入者の支払った保険料が将来の自らの年金給付に使われる積立方式の終身年金です。
予め将来の年金額を約束する確定給付型ではなく、自らが積み立てた保険料とその運用益により将来受け取る年金額が事後的に決まる確定拠出型が採用されています。
この「積立方式・確定拠出型」の財政方式は、保険料を支払っている方の数や年金を受給している方の数がどのように変化しても、その影響を受けない安定した、少子高齢時代でも安心できる制度です。
しかも、早くに亡くなってしまった場合でも、掛け損を防止するための「80歳保証」という仕組みも備えられています。

●保険料は自由に選択でき、しかも税制面で大きな優遇

農業者年金の保険料は、加入者自らが月額2万円から6万7千円までの間で、千円単位で自由に選択することができ、いつでも見直すこ

とができます。
また、農業者年金に加入して、その年に支払った保険料の全額（1人当たり最大80万4千円）が、所得税・住民税の「社会保険料控除」の対象になりますので、その分課税対象所得が下がり税金が安くなります。
また、一定の要件を満たす方には、国が保険料の一部を補助する「政策支援加入」もお選びいただけます。

●農業者年金に加入できるのは

- 農業者年金には、**ア** 年間60日以上農業に従事する
- イ** 国民年金の第1号被保険者で、
- ウ** 60歳未満の方



であれば、経営部門の如何にかかわらず、誰でも加入することができます。また、農地の要件もありません。
年金は、経営主だけが掛けていれば、その家族全員が間に合うというものではありません。年金は一人ひとりにお支払いするものなので、家族一人ひとりが準備しておくことが大切です。

保険料支払いによる節税効果(所得税・住民税)試算

税率	保険料の支払額が	
	月額2万円 (年額24万円) の場合	月額6.7万円 (年額80.4万円) の場合
15%	3万6千円	12万1千円
20%	4万8千円	16万1千円
30%	7万2千円	24万1千円

(注)保険料支払後も保険料支払前と適用される税率に変更がないものとして試算している。

お問い合わせは、農業委員会事務局またはJAへお尋ねください

神奈川県農業会議・神奈川県農協中央会 TEL045-201-0895(神奈川県農業会議) 横浜市中区日本大通5-2(アーバンネット横浜ビル2階)

編集後記

今年も、多くの方からの協力を頂き、この農業だより「ふれあい」第十四号をここに発行することができました。心より感謝申し上げます。

今年は、過去にないほどの大雪による被害や大型台風による豪雨災害などにより、あらためて自然の猛威を思い知らされました。被害に遭われた方には心よりお見舞い申し上げます。

七月には第二十二回農業委員統一選挙が行われ、私も三市一町の農業委員会も新たなスタートを切りました。そのような中で、農業委員会のあり方についても多くの議論が交わされ、農業を取り巻く環境は変わり続けていますが、この「ふれあい」が皆様の情報誌として少しでもお役に立ち、ご愛読いただけたら幸いです。今後も努力してまいります。

※お問い合わせは、各市町の農業委員会へ